結の故郷 越前おおの　　報道資料

【発信日】令和２年６月３０日
【問合わせ先】
大野市役所（１階　９・１０番窓口）
産経建設部農業林業振興課　森岡・石田
電話　0779-66-1111 内線 1912

松丸中山間地域協議会が北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰の受賞を市長に報告

北陸農政局が実施する令和元年度北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰の中山間地域等直接支払部門において、松丸中山間地域振興協議会が北陸農政局長賞を受賞されました。

つきましては、同協議会代表の川端氏が大野市長に受賞の報告に訪れますので、当日の取材をよろしくお願いいたします。

記

１　日時　　７月７日（火）午前１０時３０分～

２　場所　　大野市役所２階　応接室

３　報告者　　松丸中山間地域振興協議会　代表　川端　義秀（かわばた　よしひで）

４　協議会概要

(1) 開始年度　平成１２年度

(2) 参加者　　農業者３４人、農業法人１、農業者以外５人

(3) 目的　　松丸集落内のほ場は急傾斜地（傾斜 1/20 以上）が多く、草刈等の管理や営農活動を行うにあたり非常に条件が厳しく、また近年の高齢化あるいは後継者となる担い手の不足等が深刻なため、地域全体が支え合って営農活動を推進することを目的としている。

(4) 主な取組　後継者となる若者の雇用による将来の営農活動を担う人材育成と、寒暖差の大きい立地を生かした棚田米生産や里芋・ネギなどの新規作物導入による所得の確保。

５　その他

・　北陸農政局からのプレスリリースを添付します。

・　令和２年３月１３日に金沢広坂合同庁舎で開催予定だった表彰式は諸般の都合により中止となったため、福井県による表彰状授与が令和２年７月３日（金）に松丸生産組合にて行われます。

プレスリリース

令和元年度北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰及び北陸農政局未来につながる持続可能な農業推進優良事例表彰の受賞者の決定について

Tweet 印 刷

令和2年3月13日
北陸農政局

令和元年度の「北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰」及び「北陸農政局未来につながる持続可能な農業推進優良事例表彰」の受賞者が決定しました。
なお、例年開催しております表彰式は、諸般の事情により中止となりました。

1. 趣旨

北陸農政局では、日本型直接支払のうち、多面的機能支払及び中山間地域等直接支払に係る取組等を対象に優良な活動を表彰し、関係者の意欲の向上を図るとともに、取組の推進に資することを目的に、「北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰」を実施しています。
また、環境保全型農業直接支払については、農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るため、環境保全に効果の高い取組の促進を目的に、全国表彰の未来につながる持続可能な農業推進コンクールの有機農業・環境保全型農業部門と連携し、「北陸農政局未来につながる持続可能な農業推進優良事例表彰」を実施しています。
これらの表彰の受賞者が決定したので、表彰状を授与します。

2. 北陸農政局長賞受賞者

(1)令和元年度北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰

多面的機能支払部門

・上川西農地・水・環境保全広域協定(新潟県長岡市)
・黒河地区環境保全会(富山県射水市)
・美土里ネットはやしなか広域協定(石川県白山市)
・主計の郷を守る会(福井県福井市)

中山間地域等直接支払部門

・小千谷市真人・岩沢広域集落協定(新潟県小千谷市)
・高畠集落協定(富山県下新川郡朝日町)
・美土里ネットなたうち集落協定(石川県七尾市)
・松丸中山間地域振興協議会(福井県大野市)

(2)令和元年度北陸農政局未来につながる持続可能な農業推進優良事例表彰

有機農業・環境保全型農業部門

・農事組合法人 りんどう営農組合（富山県南砺市）
・農事組合法人 トミヨの里（石川県羽咋郡志賀町）

添付資料

・受賞者の概要（令和元年度北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰）(PDF：1,205KB)
・受賞者の概要（令和元年度北陸農政局未来につながる持続可能な農業推進優良事例表彰）(PDF：192KB)

お問合せ先

【北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰】

多面的機能支払部門
農村振興部農地整備課
担当者：多面的機能支払推進室長 梅田、保全調査係 宮田
代表：076-263-2161（内線3563、3569）
ダイヤルイン：076-232-4725
FAX：076-234-8051

中山間地域等直接支払部門
農村振興部農村計画課
担当者：課長補佐（直接支払）田辺、直接支払係 桶谷
代表：076-263-2161（内線3415、3436）
ダイヤルイン：076-232-4531
FAX：076-263-0256

【北陸農政局未来につながる持続可能な農業推進優良事例表彰】

生産部生産技術環境課
担当者：課長補佐（農業生産環境対策）三奈木、環境保全型農業推進係 小泉
代表：076-263-2161（内線3351、3355）
ダイヤルイン：076-232-4131
FAX：076-232-5824

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。
Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。
Get Adobe Acrobat Reader

北陸農政局
住所：〒920-8566 金沢市広坂2丁目2番60号
電話：076-263-2161（代表）
法人番号：5000012080001

Copyright : Hokuriku Regional Agricultural Administration Office

令和元年度 北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰
多面的機能支払部門

上川西（かみかわにし）農地・水・環境保全広域協定（新潟県長岡市）

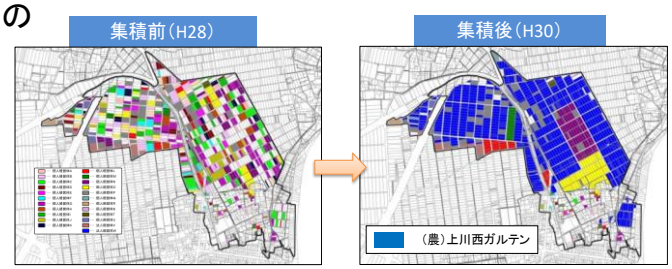
協定面積：179.4ha
構成員：農家数（74戸）、非農家数（139戸）

地域住民の農業・農村への理解向上のため、「田んぼの学校まきやま」と題し、農作業体験や生き物調査、新米試食会などを実施し、多数の参加者が交流し、地域コミュニティが強化されています。

また、担い手への農地集積・集約化に対応した保全管理に向け、地域住民との意見交換や検討会を実施し、２年間の検討期間を経て、地域の受け皿となる法人が設立されました。

こういった活動を通じて、スピード感を持った合意形成が可能となり、役員を中心とした話し合いで、１か月で集積計画を取りまとめ、農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積・集約化を実現しました。

稲刈り体験と新米試食会



【担い手への農地集積と集約が進展】

黒河（くろかわ）地区環境保全会（富山県射水市）

協定面積：93.6ha
構成員：農家数（28戸）、非農家数（28戸ほか5団体）

今後の営農や農業用施設の維持管理について話し合いを行い、集落営農組織を設立しました。

「農道をシバザクラで飾ろう」と題し、農道法面に様々な色のシバザクラを植栽しており、良好な景観を形成しています。

植栽時には、児童クラブや老人クラブ、地元ハンドボールチームの選手等、毎回100人以上が参加し、地域が活性化しています。

遊休農地の有効活用として、ソバ栽培を行い、収穫したソバで「そば祭り」を開催し、そば打ち体験では、地域住民が世代間交流を楽しんでいます。

さらに、そば打ちに興味を持った仲間が毎月「そば打ち教室」を実施するようになり、地域交流が活発になってきています。

【シバザクラの植栽】

【そば打ち体験】

令和元年度 北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰
多面的機能支払部門

美土里（みどり）ネットはやしなか広域協定（石川県白山市）

協定面積： 244.1ha
構成員：農家数（48戸）、非農家数（414戸）

今後の農業者の減少対策として、土地持ち非農家に将来の意向確認を行い、農地中間管理機構への貸付の斡旋及び集約に取り組んでいます。

農村文化の伝承活動として、伝統的な手植えによる田植えや手刈りによる稲刈りを実施し、子供と大人との交流活動の場となっています。

一度は途絶えた子供と大人で打ち鳴らす虫送り太鼓などの虫送り行事を世代間の連携により復活させています。

さらに、豊年満作を守護する守り神として害鳥を追い払うかかしを活用して、コンクールを実施し、出品されたかかしを地域イベントなどに展示利活用するなど地域おこしに取り組んでいます。

【子供会による虫送り太鼓】

【かかしコンクールグランプリ作品】

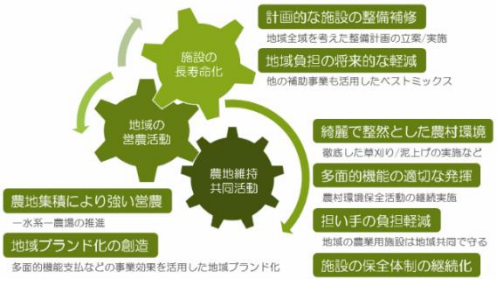
主計（かずえ）の郷（さと）を守る会（福井県福井市）

協定面積：216.9ha
構成員：農家数（137戸）、非農家数（627戸）

土地改良区が主体となって土地改良施設の保全管理体制の維持・強化活動を実施し、また、足腰の強い営農体制づくりの推進により、施設管理・維持保全・営農が三位一体となった体制を構築し、先人が残した古来から続く主計郷を守り育て、後世へより良い状態で引き継ぐよう取り組んでいます。

農業用施設等を本交付金で整備する場合、本来地元負担を求めませんが、地元負担(工事費の8%)を設定し、土地改良区による他事業との整理や優先順位の設定による計画策定と工事発注を行う体制を構築しています。

また、小規模水路では直営施工による布設替えを実施する等、技術修得にも取り組んでいます。



【三位一体の体制構築概念図】

【直営施工による水路補修】

令和元年度 北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰
中山間地域等直接支払部門

小千谷市真人・岩沢広域集落協定（新潟県小千谷市）

協定面積：田　118.8ha（超急傾斜：7.4ha・急傾斜：70.9ha・緩傾斜：40.5ha）
協定参加者：農業者143名、農業法人2、農業者以外26名

集落の高齢化や人口減少による人材不足が深刻化する中、各集落で本制度に取り組んでいた6集落が平成29年度に広域協定を締結しています。広域化を契機に、事務局設置による交付金事務の効率化と、集落の将来についての話し合いにより、農業生産活動等を維持するための体制づくりを構築しています。今年度からは、新たに本制度に取り組み始めた2集落を加えた8集落で活動を実施しています。

また、廃校校舎の一部を改装し、地元野菜、山菜の漬物加工販売等により、地域所得向上に取り組んでいます。

このほか、新規就農者・大学生のインターンシップ生の受入れ等による後継者の育成や外部人材の確保を行っています。

【野菜や山菜の漬物】

【インターンシップ生（右）の受入れ】

高畠集落協定（富山県下新川郡朝日町）

協定面積：田　28.8ha（急傾斜：13.7ha・緩傾斜：15.1ha）
協定参加者：農業者23名、農業法人2、農業者以外25名

集落の農業者の高齢化と後継者不足により、将来の農地の維持管理が危惧される中、平成12年度から本制度を活用し、集落ぐるみの共同取組活動を実施しています。近年は若い担い手が加わり、エゴマや里芋などの高収益作物も生産しています。

本制度取組当初の協定参加者は農業者のみでしたが、非農家への呼びかけにより、現在は集落全戸が農道・水路等の管理活動に参加し、担い手が営農に専念できる環境整備を行っています。

また、本交付金を活用して農家と非農家が一体となって電気柵付きの耐雪型侵入防止柵の設置作業や春から冬に入るまで週一回の定期点検作業を行い、獣被害を最小限に抑えています。

【耐雪型侵入防止柵の設置】

【若い農業担い手】

令和元年度 北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰
中山間地域等直接支払部門

美土里（みどり）ネットなたうち集落協定（石川県七尾市）

協定面積：田　63.9ha（超急傾斜：5.6ha・急傾斜：9.7ha・緩傾斜：48.6ha）
協定参加者：農業者26名、農業法人1、農業者以外46名

集落の少子高齢化の進行から将来の営農継続や地域の活力低下が懸念される中、平成27年度から4集落で広域協定を締結しています。広域化と合わせて設置した事務局が集落間の調整を行い、担い手農業法人を中心とした集落ぐるみの共同取組活動による営農体制を確立しています。

また、規格外品の地元野菜を使った漬物や地場産大豆を使った田舎味噌の加工販売等により、地域所得向上に取り組んでいます。

このほか、都市農村交流事業をきっかけとしたIターン就農や県外転出者のUターン就農により後継者の育成や外部人材の確保を行っています。

【担い手と新規就農者】

【漬物と田舎味噌】

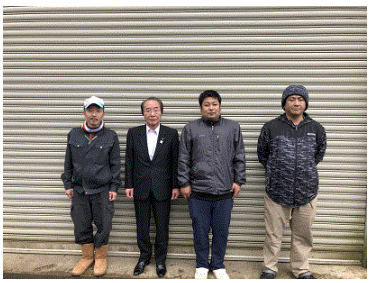
松丸（まつまる）中山間地域振興協議会（福井県大野市）

協定面積：田　27.3ha（急傾斜：23.2ha・緩傾斜：4.1ha）
協定参加者：農業者34名、農業法人1、農業者以外5名

集落の農業者の高齢化と若者の減少による耕作放棄地の増加が懸念される中、平成12年度から本制度を実施しています。協定農用地の8割以上を急傾斜地が占め、地形条件が厳しく、維持管理が課題となっている中、担い手農業法人を中心とした集落ぐるみの共同取組活動による営農体制を確立しています。

担い手農業法人に協定農用地の9割近くを集積し、耕作放棄地の発生防止に取り組むとともに、今年度はネギの皮むき等の作業施設を整備し、里芋やネギの生産・販売を行っています。

また、農の雇用事業を活用し、後継者となる若手3名を雇用し、将来の営農活動を担う人材育成を行っています。



【代表と新規就農者】

【ネギ等の作業施設】